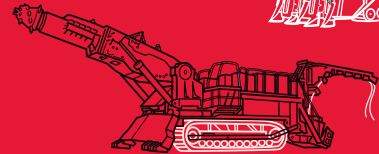
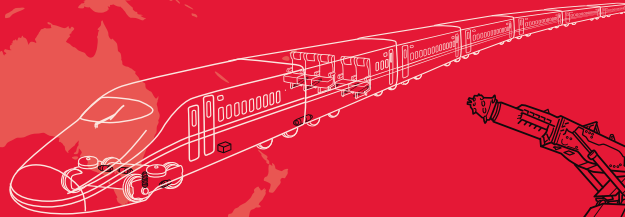
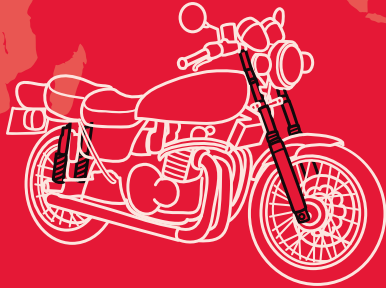


KYB

Our Precision, Your Advantage



Who We Are

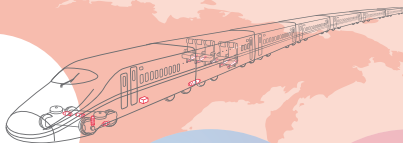
KYBについて

コアコンピタンスである「振動制御技術」「パワー制御技術」に、システム化技術や電子制御技術を融合することで幅広い事業分野で展開しています。油圧技術のトップランナーとして人々の暮らしの安全・快適さを実現し、一歩先をいくモノづくりを通じて、グローバル社会に貢献しています。

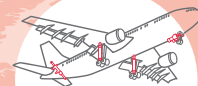


産業車両
Industrial Vehicle

鉄道
Railroad Equipment



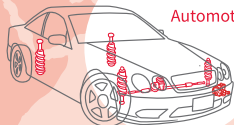
スポーツ・環境・福祉
Sports, Environment & Welfare



航空機
Aircraft Components



農業機械
Agricultural Machinery



自動車
Automotive

振動制御技術
Vibration Control Technology

パワー制御技術
Power Control Technology

電子制御技術
Electronic Control Technology



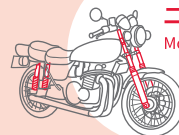
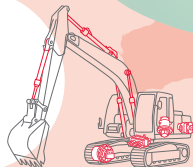
特装車両
Special Purpose Vehicles



舞台機構・建物装置
Building & Stage Equipment



建設機械
Construction Machinery



二輪車
Motorcycles

船舶
Marine Products



Our Strength

KYBの強み

独立系国内最大手

独立系の油圧機器メーカー国内最大手としてBtoBビジネスをメインに展開。

世界トップクラスのシェア

四輪車用ショックアブソーバ・建設機械用油圧シリンダシェア世界トップクラス。

幅広い技術

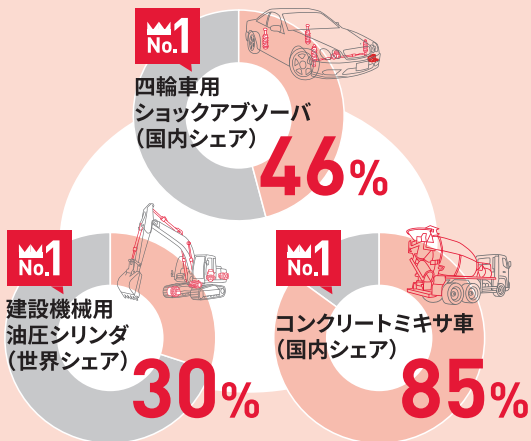
グループ会社と共に、四輪車・二輪車・建設機械・産業車両・航空機・鉄道・特装車両など幅広く展開。

世界24ヶ国

グループ会社49社、連結従業員数14,754名(2018年度)で、世界24ヶ国に進出。

テストコース

部品メーカーでは最大規模の世界中の路面状況を再現したテストコース(四輪車・二輪車)を完備。



生産現場で

油圧技術・ものづくりの進化を追求する

テストコースで

快適な乗り心地と操縦安定性を追求する

レースシーンで

過酷な環境下で技術を磨く

仲間と共に

やりたいことに取り組める環境

Our Spirits

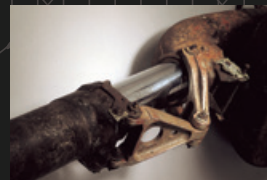
受け継がれる、KYBのDNA

1 創業者、 萱場資郎。



KYBの創業者である萱場資郎は、非凡な才能を持つ発明家であり、自由を愛し、頼ることを潔しとしない独創精神の持ち主でした。1919年、資郎はわずか21歳で「萱場発明研究所」を創業。設立時には人類の平和に貢献する道を探っていました。

2 独自技術の 発明。



1923年の関東大震災で研究所が消失。資郎は海軍の技術者を経て、1935年に萱場製作所を創立し、自動車用ショックアブソーバの前身となる航空機用の「油圧緩衝脚(オレオ)」を発明。この発明が今日のKYBの油圧技術に繋がっています。

3 技術力を 世界へ。



1950年代には自動車だけでなく、建設機械、産業機械、コンクリートミキサなどの特殊車両、航空機部品の製造にも着手。ロケット機器の開発にも携わるようになります。1970年代に入り海外進出を本格化させ、グローバル化を進めながら、2015年に社名を「KYB」に改めました。

4 独創、活気、 そして愛。



資郎が掲げた基本理念は、『活気・愛・独創』。独創的な発想をカタチにするのは活気にあふれた現場であり、その力が世界の人々に貢献することになる。そんな資郎の熱い想いは、現在も脈々と受け継がれています。このDNAを未来の仲間たちに繋いでいくことが、私たちの使命なのです。

What We Pursue

期待される明日のために

私たちの技術によって、お客様の信頼を勝ち取りたい。
私たちのモノづくりへの想いを、人々の笑顔につなげたい。
だから、安心・快適な製品開発を追究しているのです。

01 | トヨタ自動車社より、 プロジェクト表彰「技術の部」受賞

2018年6月に、「新型車カローラ スポーツ」のプロジェクト表彰式において、KYB独自の技術開発により、新型車の商品力向上に多大な貢献をしたことが評価され、新技術を盛り込んだショックアブソーバが「技術の部」を受賞しました。今回の受賞を励みとし、今後も乗心地や車両性能に貢献する製品開発に取り組んでまいります。(AR2018より)



02 | フルアクティブ サスペンションシステム(ASTRIC)

最新モデルのアクティブサスペンションシステムは、制御装置からの指令により、フルアクティブ機能、パッシブ機能、セミアクティブ機能に自動的に切り替わります。車体の横揺れをセンサが検知し、常に振動を打ち消す制御をすることで乗り心地を向上させます。本システムは、小田急電鉄株式会社の特急ロマンスカー(70000形)にご採用いただきました。(AR2018より)



03 | 世界のトップレベル のレースで活躍

全日本ロードレース、ワールドラリークロス、SUPER GTなどさまざまなレースシーンにおいて、サスペンションやEPSなどの製品提供、技術開発やサポートを行っています。





設計

オートモーティブコンポーネンツ事業本部
サスペンション事業部

井ノ口 拓実 TAKUMI INOUGUCHI
理工学部・機械工学科卒／2014年度入社

世界のクルマの約20%が装着する「ショックアブソーバ」の設計・開発を行っています。若手のうちから製品を専任で担当できるため、モノづくりの達成感は一とおし。独立系の強みを生かし、世界中のクルマの乗り心地を高める製品を開発するのが夢です。オン・オフはしっかり切り替え、土日は交際相手と過ごしてリフレッシュ。時には有給休暇を利用しサーキットで走行練習を楽しんでいます。



技術研究

技術本部
基盤技術研究所 運動制御研究室

佐々木 啓 KEI SASAKI
理工学研究科卒／2012年度入社

世界の最先端技術に触れられるKYBの中でも、研究室はさらに新しい技術や改善策を自ら考え探していく部署です。私は主に自動運転に関わる制御技術を研究。成功・失敗にかかわらず、新たな知見が得られることが研究室の醍醐味です。部署の約7割が20代で、若手がのびのびチャレンジできる社風も魅力ですね。10連休ほど取れる長期休暇は妻と海外旅行へ。パワーチャージに役立っています。

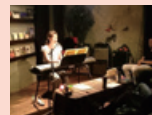


経営企画

経営企画本部
経営企画部

岩松 涼子 RYOKO IWAMATSU
外国語学部・外国語学科(英語専攻)卒／2012年度入社

KYBグループ全体の業績管理、海外出張やテレビ会議の通訳など多岐にわたり、自分の集計・分析した結果がトップの経営判断に使用されることにやりがいを感じています。「英語を使って活躍したい」と入社したKYBは、挑戦のチャンスと成長を見守る温かさがあり、年々仕事の幅が格段に広がっていますね。仕事と同じく熱中しているのがバンド活動。練習やライブで、休日にも充実しています。

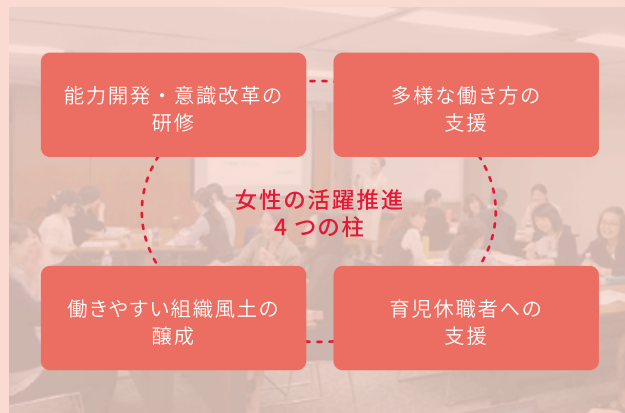


Work Style

働きやすい環境へ

個性を生かすために

多様な人財が個性を生かし、新たな価値や競争力を生み出し続ける会社となるための一環として、より働きやすい環境を目指しています。



4つの柱を軸として、女性労働力の更なる活躍推進により誰もが活躍できるより働きやすい環境を目指すため、女性活躍推進（「女性キャリア研修」や、「子育て交流会」など）を展開してまいりました。今後は女性のみならず、ダイバーシティの視点で在宅勤務の導入や、意識調査による風土づくりを幅広く展開してまいります。

バランスの取れた働き方のために

ワークライフバランスを大切に考えるKYBでは、柔軟に働くことができるよう、さまざまな制度を設けています。

仕事と私生活の両立

介護休暇
育児休暇
育児短時間勤務
カムバック制度
フレックスタイム

時間単位年休
配偶者転勤休職
メンター制度
ボランティア休職



社内イベント (KYBグループ全体)

スポーツ・文化交流会
ロボットコンテスト
納涼祭



教育・研修制度

技術者教育 (50 コース)
語学・グローバルマインド養成
海外トレーニー制度 など

独身寮・社宅

独身寮・社宅
本社エリア／岐阜エリア／
熊谷エリア／相模エリア



君が世界を
動かす
力になる。